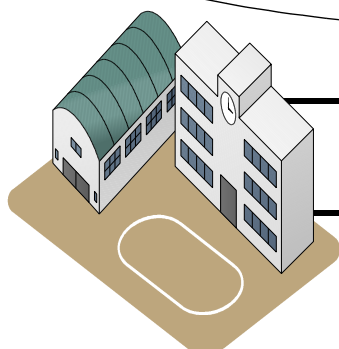




南魚沼市立総合支援学校の今、そしてこれから…

□平成 25 年 4 月に開校した、総合支援学校はまもなく学校づくりの第 1 ステージが終了する。私たちの学校の母体となった県立小出特別支援学校の教育プランを参考にしながらも、地域の特性や通っている子どもたちのニーズを基にして、試行錯誤しながら独自の教育活動、学校づくりを追求してきた。街をキャンパスにした教育活動しかり。地域の名人を講師に招いた授業しかり。MSG カフェ・職業体験／現場実習・オータムフェスタ・スポーツフェスタ…等々…、全てそうだ。それらの活動を通じて、私たち総合支援学校教師は『子どもたちの個性や生きる力』が確かに育っていると実感している。開校 3 年を経て、総合支援学校の教育活動のアウトラインが出来上がったように思う。

□さて、次年度 4 月からはいよいよ第 2 ステージが始まる。この第 1 ステージの教育活動の成果と課題を洗い出し、総点検し、新たに創始するものを考えたり、大ナタを振るって大胆に切り捨てることも必要となる。教育活動見直しの視点として、次の 2 つを大切にしたいと思う。1 つは「総合支援学校で学ぶ子どもたち一人一人のニーズに応じた指導」、もう 1 つが「総合支援学校の地域の特別支援教育のセンター的役割」だ。この 2 つを車の両輪として、3 年間の教育活動の総括と精選を図る必要がある。第 2 ステージの 3 年が終わる頃には、南魚沼市立総合支援学校の校風(学校文化)と呼べるものが、具体的な形となって確立していることと思う。

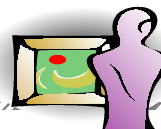
□私は、この第 2 ステージの時期に、立ち上げる必要があると思っていることが 3 つある。その第 1 は「学校後援会」を立ち上げることである。同時に、卒業生の「同窓会」と、その保護者による「卒業生父母の会」を組織する。2 つ目が「発達障害学級」の設置だ。総合支援学校は知的障害の子どもを通う特別支援学校であるが、実際には発達障害の子どもも少なからず在学している。発達障害の子どもは小・中・高校の通常学級で学ぶべきだと私は考えているが、まだ小・中・高校には十分な支援体制が整っていない。発達障害の子どもには(配慮した)教科学習を主とするカリキュラムで学び、卒業後上級学校への進学道を拓く、「発達障害学級」が必要だと考えるからである。3 つ目が授業力向上のための「授業支援者会議」の導入と定着を図ること。これが恒常化すれば、総合支援の教師の授業力は飛躍的に向上するはずだ。この 3 つは第 2 ステージで実現しなければならない。

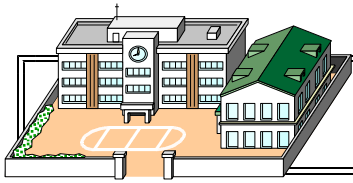


<やったね！入賞おめでとう！>

全国的な組織である、公益財団法人教育美術振興会が主催している「全国教育美術展」に絵画を出品していた中学部の 2 人が見事、入賞を果たしました。いゃ～、2 人とも凄いねえ～、立派なものだ！入賞おめでとう！

★特選…中 1／高橋いのり さん ★入選…中 1／石山 律 さん





学校評議員の皆様、一年間有り難うございました！

学校評議員の皆様、今年も一年間学校評議員をお引き受けいただき、折に触れて教職員の指導や子どもらの学習の様子を参観してもらったり、学校の施設設備を見ていただき、学校運営や学校教育に対する率直なご意見やご提言をお寄せいただきました。来年度の教育活動に活かしていきたいと思ひます。一年間、有り難うございました。

- ☆岩井康則さん（サンテック／南魚沼職業能力開発運営協会事務局長）
- ☆江部健幸さん（南魚沼福祉会／相談支援センターみなみうおぬまセンター長）
- ☆渡邊さくらさん（南魚沼市女子力観光プロモーションチーム代表）
- ☆寺口真一さん（南魚沼市立総合支援学校前PTA会長・県知P連会長）
- ☆中俣マサ子さん（南魚沼市手をつなぐ育成会前会長）

【第2回学校評議員会での意見・提言／1月18日<月>】

- 児童生徒の笑顔があふれ、学校全体の雰囲気がとてもよい。教室内のタイムスケジュール表もよく工夫されていて、児童生徒もわかりやすいと思う。タブレットを上手く活用していると思った。HPが立ち上がってよかった。（サンテックに、中学部から）年末にいただいた「門松」はとてもよくできていた。普段から色々なものを作っていると思うが、材料の調達などに先生方が奔走されていて、よくやられていると思う。MSGカフェのクオリティーが高い。児童生徒個々に対して目を向けた教育をしてほしい。（岩井評議員）
 - 他の学校に比較して、児童生徒数と教職員に余裕があるためか、教員の動きに余裕を感じます。今後は、より専門的な支援（行動障害の子どもへの校内での支援等のまとめ＝事例集）に関しての報告を期待します。特別支援教育推進室の今後の在り方が気になります。どうか、学校だけで進めるのではなく、せっかく委嘱した他機関のスタッフとの定期的な連携のための話し合いがほしいです。高等部卒業後の進路に関して、春の時点での全体の方向に関するすり合わせがほしいです（サービス事業所の方にも、我々から説明できるようにしたいです）。（江部評議員）
 - 引き続き、熱心な指導をされていると感じましたし、児童生徒も見てもらっている（見守り・評価されている）と感じているのではないのでしょうか。教室内外に関係なく、安心・安全な授業展開が続けば、と思います。学校たより、校長短信、いつも楽しみにしています。推進室の活動、ニーズの高さがうかがえます。総合支援学校以外の市立校の教職員への指導・支援をお願いいたします。（渡邊評議員）
 - 本当に子どものことを考えて教育していることを感じました。私の想像を超えた学校になっていて、とても嬉しいです。きめ細かな対応で子どもの力が伸びていることに感謝します。学校紹介ビデオは涙が出るほど、感動しました。冬場いつも思うことは、体育館が寒いことです。動ける子どもはよいけれど、障害の重い子どもは自力で動けないので、風邪を引かないよう、十分防寒対策を取ってほしい。（中俣評議員）
- （寺口評議員さんの意見・提言については、校長短信 42<87>号で紹介しています）

